

2023年6月28日
北海道電力株式会社

2023年6月28日 社長会見要旨

1. 役員交代記者会見

【真弓前会長あいさつ】

真弓です。会見の前に一言皆さまにお礼のご挨拶をさせていただきます。

本日の取締役会をもって取締役を退任いたしました。会社生活44年、取締役として11年でしたが、この間、報道機関の皆さまには大変お世話になりました。この場を借りて厚くお礼申しあげます。ありがとうございました。

この先、藤井、齋藤の新体制は様々な課題がありますが、新しい風も吹いてまいりました。しっかりと舵取りをしてくれることを期待しております。

皆さまにおかれましても、引き続き、どうぞよろしく願いいたします。長きにわたり、本当にありがとうございました。

【藤井新会長あいさつ】

藤井でございます。本日の株主総会後に開催されました取締役会において、取締役会長に選任されました。改めて、どうぞよろしく願いいたします。

ご挨拶の前に、七飯水力発電所の灌漑用水の放水が停止していることで、周辺の農家の皆さまに多大なご心配・ご迷惑をおかけしていることを、この場をお借りしてお詫び申しあげます。稲作にとって今が非常に大事な時期だと認識しております。影響を最小限にとどめるため、放水量の確保に向けて全力で対応を進めてまいります。

それでは、社長退任と合わせて会長就任にあたり一言、ご挨拶申しあげます。

2019年6月の社長就任以来、4年が経過いたしました。

振り返りますと、社長就任後、まずは、その前年に発生したブラックアウトに対する再発防止対策としてアクションプランを実施しました。

2020年4月には、送配電部門を北海道電力ネットワークに分社化し、電気事業の大きな転換点を迎えるなか、2030年の目指すべき姿として「ほくでんグループ経営ビジョン2030」を策定し、その達成に向けて取り組みを進めてまいりました。

電気事業に加え、ガス供給事業やESP事業の展開、さらには再生可能エネルギーを利用した電源開発や水素の製造・活用など新技術にも取り組んできたところであり、徐々にその成果をあげつつあります。

また、昨年6月には、ほくでんグループを取り巻く事業環境の大きな変化に対応

し、重要な経営課題に対して的確かつ迅速に対応していくため、さらには取締役会における意思決定の透明性と経営監督の実効性を一層高めるため、「監査等委員会設置会社」へ移行し、新たなガバナンス体制を構築してきたところです。

一方で、泊発電所の新規制基準適合性審査につきましては、ほくでんグループの総力を挙げて取り組んでおりますが、審査が継続しており社長在任中の審査終了は叶いませんでした。

また、厳しい収支・財務状況のなか、経営の健全化を図り、燃料の安定的な調達や電力設備の保全・運用にしっかりと対応し当社の使命である電力の安定供給を果たしていくため、低圧規制料金をはじめとして、電気料金の値上げをさせて頂きました。お客さまに一層のご負担をおかけすることとなり、大変心苦しく、申し訳なく思っております。

今後、泊発電所の再稼働の実現はもちろんのこと、電力小売事業において厳しい競争環境でもお客さまからお選びいただけるよう、不断の経営効率化に取り組み、経営基盤を磐石にしていかなければならないと痛感しているところです。

さらに、カーボンニュートラルを見据えた設備形成や脱炭素化に向けた取り組みにも力を入れ、電気事業のビジネスモデルの変革や 事業領域のさらなる拡大に向けて、新たな取り組みを進めていく必要があります。時代の情勢は大きく変化しております。

こうした状況を踏まえ、引き続き厳しい経営環境ではありますが、新たな業務執行体制のもと、柔軟な発想を持ちつつ、挑戦していくことが必要であると判断し、次の世代にバトンを渡す決意をいたしました。

今後は会長として齋藤新社長を支えながら、ほくでんグループならびに北海道経済の発展のため、微力ながら「ゼンリョク」で力を尽くしてまいりたいと考えております。

社長就任以来、皆さまには大変お世話になりましたこと、厚くお礼を申し上げます。引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

【齋藤新社長あいさつ】

齊藤です。この度、社長を務めさせていただくことになりました。よろしくお願いいたします。

真弓名誉顧問、藤井会長からもお話がありましており、ほくでんグループとして取り組むべき課題は多様であり、時代が大きく変革するなか、しっかりと先を見越し、スピード感をもって果敢に挑戦し、確実に成果を上げることが必要です。

このような厳しい時代において、ほくでんグループのかじ取り役を担うことになり、身の引き締まる思いです。

微力ではございますが、ほくでんグループの総力を挙げて、お客さまの暮らしや

北海道の経済を支えるとともに、ほくでんグループの企業価値向上に全力で取り組む所存です。

これまで同様、皆さまからのご指導・ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

2. 齋藤新社長記者会見

本日は「第 99 回定時株主総会」、「役員人事」、「泊発電所の審査状況」、「お客さまへの新たなサービス」についてお話しします。

【七飯発電所からの灌漑用水放水停止への対応状況】

株主総会に関するご説明の前に、当社七飯発電所の設備損傷に伴う灌漑用水の放水停止への対応について申し上げます。

この度は、渡島平野土地改良区様の管轄エリアの農家の皆さまをはじめ、関係者の皆さまへ多大なご迷惑・ご心配をおかけしていますことをお詫び申し上げます。

現在、農家の皆さまへの影響を可能な限り低減するため、ポンプの増設など必要資機材を拡充することで、放水量の積み上げに努めています。

引き続き、関係機関の皆さまのご協力をいただきながら、あらゆる手段を尽くしてまいります。

【株主総会】

それでは、先ほど終了しました株主総会の結果についてご説明します。

本日、午前 10 時から札幌ビューホテル大通公園で開催し、159 名の株主さまにご出席をいただき、11 時 38 分に終了しました。

議案の審議結果につきまして、当社が提案した議案は、多数の株主さまの賛成を得てご承認をいただきました。株主さまがご提案された議案は、いずれも否決されました。

また、株主さまからは、泊発電所の安全性・経済性や再生可能エネルギーの活用などに関するご質問やご意見をいただきました。ご質問に対しては、株主の皆さまにご理解いただけるよう丁寧にご説明しました。いただいたご意見につきましては、今後の社業運営の参考にさせていただきます。

【役員人事】

次に、お手元にお配りした資料 1 をご覧ください。役員人事についてご説明します。

本日の株主総会において、監査等委員以外の取締役候補 9 名をご承認いただきました。

その後、開催した臨時取締役会において、会長、代表取締役、役付執行役員、および、常勤の監査等委員をそれぞれ正式に決定しました。

役付執行役員の委嘱業務・担務については、2 ページのとおりです。

また、3 ページに記載のとおり、再任 13 名、新任 3 名の執行役員を任用します。役員人事のご説明は以上となります。

【泊発電所の審査状況】

次に、お手元に資料はご用意していませんが、泊発電所の審査状況についてお話しします。

6 月 9 日の審査会合において、泊発電所の基準地震動の策定に関し、原子力規制委員会から「概ね妥当な検討がなされている」との評価をいただき、主要な審査項目のひとつについてご理解いただけたものと考えています。

当社は引き続き、泊発電所の早期再稼働に向けて「基準津波の策定」、「火山影響評価」、「プラント施設への地震・津波の影響評価」など、残りの審査項目について精力的に対応を進めてまいります。

【お客さまへの新たなサービス】

最後に、お客さまの健康維持をサポートする新たなサービスの開始についてご説明します。資料 2 の 1 ページをご覧ください。

北海道は都市や町が広域的に分散していることや、積雪寒冷という地域特性に加え、人口減少や少子高齢化の進展などから、様々な課題を抱えていると認識しています。特に、北海道はがん罹患率が高いなどの特徴があり、お客さまが安心して豊かな暮らしを続けるためには、「健康」が重要であると考えています。

こうした現状を踏まえ、これまでエネルギー事業を通じて培ってきたお客さまとのつながりを生かすことで、お客さまの暮らしを豊かなものにするお力になれると考え、「ヘルスケア関連サービス」を開始することとしました。

3 ページをご覧ください。がんの罹患率が高い一方で、検診受診率が低い現状を踏まえ、ご自宅などでだ液を採取するだけで、お手軽にがんリスクを検査できるサービス、「サリバチェッカー」のご提供を開始します。

その他、4 ページに記載の通り、便利、シンプル、安心な保険商品のご紹介といったサービスも展開していきます。

6 ページをご覧ください。今後、当社では、ヘルスケア関連サービスとして、医療機関、介護施設、薬局、自治体などとお客さまをおつなぎすることで、サービス拡充

を進めてまいります。

さらに、道内生産事業者、不動産管理会社などをおつなぎする「食」や「住宅」などに関するサービスについても具体的な検討を行っており、サービス内容がまとまり次第、順次お知らせしてまいります。

私からは以上です。